

(1) アドミッション・ポリシー

法経科第1部

法経科第1部では、次のような学生を求めています。

- 法律・政治・経済・経営などの学問の修得に関心のある学生
- 社会科学を学び、その成果を自らの職業に生かしていくことを希望する学生
- 地域や社会問題に広く関心を持ち、市民として積極的に関与したいと願う学生

そのため、次のような方針に基づいて入学者選抜を行います。

- 「推薦入試」では面接や小論文試験を通して、学習意欲、問題関心、自己表現能力などを重視した選考を行います。
- 「一般入試」では英語と国語の学力試験を実施し、基礎的な学力や論理的思考を重視した選考を行います。
- 「センター試験利用入試」では、必修科目を指定しない選択科目制を実施し、基礎的な学力や特定の教科・分野での優れた能力を重視した選考を行います。

法経科第2部

法経科第2部では、次のような学生を求めています。

- 社会科学について基礎的な素養を身につけ、生かしていくことを希望する学生
- 地域や社会問題に広く関心を持ち、市民として積極的に関与したいと願う学生
- 学び続けることを生き甲斐とし、自らの人生設計に組み入れたいと願う学生

そのため、次のような方針に基づいて入学者選抜を行います。

- 「推薦入試」では書類審査と面接による選抜を行います。「学習計画書」の提出を求め、現代社会のさまざまな事象にどのような興味や関心を持っているか、入学後、どのような分野を学習する意志があるかを述べてもらうことにより、学習意欲や問題関心、自己表現能力を重視した選抜を行います。
- 22歳以上の方を対象にした「社会人入試」では、書類審査と面接により、学習意欲や自己表現能力を重視した選抜を行います。
- 「一般入試」では、小論文と面接により基礎的な読解力、論理的思考、自己表現力を重視した選抜を行います。
- 「センター試験利用入試」では、必修科目を指定しない選択科目制を実施し、基礎的な学力や特定の教科・分野での優れた能力を重視した選考を行います。

生活科学科 食物栄養学専攻

食物栄養学専攻では、将来、食のスペシャリストとして社会に貢献できる、豊かな教養と幅広い専門知識を身につけた「栄養士」や「栄養教諭」の育成を目指します。そのために、次のような人を求めています。

- 食や健康に強い関心と探究心をもち、専門性を高めるに十分な基礎学力を有する人
- 本学食物栄養学専攻で学ぶ目的意識をもち、将来、栄養士や栄養教諭などの食のスペシャリストとして、地域社会に貢献する意欲のある人
- 知的好奇心を持ち、常に自らを成長させることができる人
- 各個人の個性を認めあい、豊かなコミュニケーションが取れる人

そのため、次のような方針に基づき入学者選抜を行います。

- 「推薦入試」では書類審査と面接や小論文試験を通して、学習意欲、問題関心、自己表現能力などを重視した選考を行います。
- 「一般入試」では英語と国語の学力試験を実施し、基礎的な学力や論理的思考を重視した選考を行います。
- 「センター試験利用入試」では、英語・国語を必修とするほか、数学及び理科（生物・化学）から1科目を選択する方式をとっています。

生活科学科 生活科学専攻

生活科学専攻では、次のような学生を求めています。

- 社会福祉、心理、住生活、環境といった「いのち」と「暮らし」に関わる学問に関心のある学生
- 生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学や心理学をはじめとする幅広い学問の基礎的知識を修得し、その成果を自らの進路に活かしていくことを希望する学生
- 居住環境コースにあっては、住生活やまちづくり、環境問題など、住環境に関わる幅広い学問の基礎的知識を修得し、その成果を自らの進路に活かしていくことを希望する学生
- 地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする意欲をもった学生

そのため、生活科学専攻では次のような方針に基づき入学者選抜を行います。

- 「推薦入試」では書類審査と面接や小論文試験を通して、学習意欲、問題関心、自己表現能力などを重視した選考を行います。
- 「一般入試」では英語と国語の学力試験を実施し、基礎的な学力や論理的思考を重視した選考を行います。
- 「センター試験利用入試」では、必修科目を指定しない選択科目制を実施し、基礎的な学力や特定の教科・分野での優れた能力を重視した選考を行います。
- 「関連分野特別選抜入試」では、学習計画書（関連分野について高等学校で学習してきたことのうえに、さらに本学でどのような事柄を学習するか）の提出を求め、面接において学習意欲や問題関心を重視した選考を行います。
- 22歳以上の方を対象にした「社会人入試」では、書類審査と面接や小論文により、学習意欲や自己表現能力を重視した選考を行います。